

第2次高松市視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画 (第2次高松市読書バリアフリー計画)(案)についてのパブリックコメント実施結果

本市教育委員会では、令和8年1月19日から2月20日までの期間、「第2次高松市視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画(第2次高松市読書バリアフリー計画)」(案)についてのパブリックコメントを実施しました。

つきましては、いただきました御意見の要旨及びそれに対する本市の考え方を、次のとおりまとめましたので公表いたします。

1 意見総数 2件 (2名)

2 御意見の要旨及び本市の考え

※提出いただいた御意見は、趣旨を変えない範囲で、簡素化又は文言等の調整をしています。

No.	御意見等(要旨)	市の考え方
1	電子書籍に関しては、電子書籍のプロバイダと提携できれば、最新の書籍を購入することにより、そのまま電子データを読み上げることで、スクリーンリーダーによる読書が可能な冊数を増やすことができるのではないか。	本市図書館では、公共図書館用の電子書籍配信サービスを利用しており、令和6年度末時点で40点の読み上げ機能付きのコンテンツを導入しています。 今後におきましても、視覚障がい者等が利用しやすい電子書籍やオーディオブック等の充実に取り組んでまいりたいと存じます。
2	税金をあまり使わずに計画を立ててほしい。	本計画の策定につきましては、極力、費用等がかからないよう取り組んでいます。